

令和2年度 年間指導計画を見直す際の参考資料

小学校 第4学年 「図画工作（日本文教出版）」

42時間（7096）

週	領域	題材名	題材の内容	時間数	留意点
1	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞	絵の具でゆめもよう	水彩絵の具でいろいろな表し方を試しながら模様をつくり、形や色などの感じを捉えながら、模様を生かして、表し方を工夫しながら絵に表す。	2	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	(1)ア 絵 【選択】	まぼろしの花	誰も見たことも聞いたこともないまぼろしの花を、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。	2	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
2	A表現 (1)ア (2)ア B鑑賞 (1)ア	光とかげから生まれる形	いろいろな材料を組み合わせてできる影の形を試しながら、造形的な活動を思い付き、形や色などの感じを捉えながら、活動を工夫して面白い影の形をつくる。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
	造形あそび 【選択】	つつんだアート ～とう明なシートで～	いつも使っている場所やものを透明なシートで包み、形や色などの感じを捉えながら、活動を工夫して包んだ場所やもの様子が変わることを楽しむ。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
		つつんだアート ～新聞紙で～	いつも使っている場所やものを新聞紙で包み、形や色などの感じを捉えながら、活動を工夫して包んだ場所やもの様子が変わることを楽しむ。	2	・友達との間隔を保って活動する。 ・状況に応じて実施時期をずらす。
3 4	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア	立ち上がり！ねん土	板状やひも状にした粘土を立ち上げることから表したいことを見付け、形などの感じを捉えながら、手や用具を工夫して使い立体に表す。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。
	立体 【選択】	トロトロ、カチコチ・ワールド	布やいろいろな材料を組み合わせて液体粘土で固め、表したい世界を思い付き、形や色などの感じを捉えながら、材料の組合せ方を工夫して立体に表す。	4	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・使用する材料をある程度制限し、時間削減に配慮できるようにする。
5 6	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 工作	おもしろアイデアボックス	段ボールの形や特徴を生かして、生活で使える入れ物を考え、形や色などの感じを捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して表す。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・着色は、油性ペンを使ったり、色紙を貼ったりすることで、絵の具の乾燥時間を削減できるようにする。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	7 ～ 9	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 絵 【選択】	わずれられないあの時	生活の中で心に残っていることから表したい様子を思い浮かべ、そのときに感じた気持ちに合う形や色を見付けながら、表し方を工夫して絵に表す。	5
大きな物語		物語から想像を膨らげ、思い浮かべた様子や感じに合う形や色を見付け、どのように表すか考え、工夫して楽しく絵に表す。	5	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるよう配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。	
10 11	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 工作 【選択】	ギョギョクリエーター ～ギョギョ名人～	のこぎりを安全に使い、切ってきた様々な形の木をつないでできる形などを基に、生活で楽しく使えるものを考え、形や色などの感じを捉えながら、材料の組合せ方を工夫して表す。	6	・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	ギョギョクリエーター ～わくわく楽き～	のこぎりを安全に使い、切ってきた形を生かして、音の鳴る仕組みを基につくりたい楽器を考え、形や色などの感じを捉えながら、材料の組合せ方を工夫して表す。	6	・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。	
12 ～ 14	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞 (1)ア 立体 【選択】	ゆめのまちへようこそ	大きく楽しい夢の街を考えるとともに、形や色などの感じを捉えながら、段ボールを積んだり、組み合わせたりするなど表し方を工夫し、協力して立体に表す。	5	・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	森のげいじゅつ家	木の材料を組み合わせながら、つくりたいものを考え、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して立体に表す。	5	・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充を家庭で行い、色塗りの前に確認、助言等を行う。	

15 ～ 17	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞	光のさしこむ絵	光を通す材料や、並べたり重ねたりする行為の中から、自分の表したいことを見付け、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して絵に表す。	6	
	(1)ア 6時間	ほってすって見つけて	版を生かして表したいことを考え、形などの感じを捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して、版に表すことを楽しむ。	6	・作品の大きさを小さくすることで、時間削減できるように配慮する。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
18	A表現 (1)ア (2)ア B鑑賞	つなぐんぐん ～わりばしで～	割り箸をつなぎながら造形的な活動を思い付き、形などの感じを捉えながら、つなぎ方や組合せ方を工夫して活動する。	2	・割り箸や木の枝をつなぎ合わせる材料として、園芸用のカット針金が扱いやすい。
	造形あそび 【選択】	つなぐんぐん ～木のえだで～ 2時間	細く丸めた新聞紙をつなぎながら造形的な活動を思い付き、形などの感じを捉えながら、つなぎ方や組合せ方を工夫して活動する。	2	家庭 ・新聞紙を細く丸める作業を家庭でも行うようにする。
19 ～ 21	A表現 (1)イ (2)イ B鑑賞	幸せを運ぶカード	飛び出す仕組みを基に、伝えたいことが楽しく伝わるカードを考え、形や色などの感じを捉えながら、表し方を工夫して表す。	5	・着色は、油性ペンを使ったり、色紙を貼ったりすることで、絵の具の乾燥時間を削減できるようにする。
	(1)ア 6時間	ゴー！ゴー！ドリームカー ～ゴムの力で～	ゴムの力で動く仕組みから表したい車を考え、形や色などの感じを捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して、楽しく走る車をつくる。	5	・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。
	工作 【選択】	ゴー！ゴー！ドリームカー ～風の方で～ 6時間	風の方で動く仕組みから表したい車を考え、形や色などの感じを捉えながら、材料や用具の使い方を工夫して、楽しく走る車をつくる。	5	・速乾性の接着剤やホットボンドなどを活用し、乾燥時間の短縮を図る。 ・アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題とし、「表す」活動の前に確認する。

※時間数の精選方法（例）

○同じ領域の題材を選択して扱う。

・例えば、絵の題材として、「絵の具でゆめもよう」「まぼろしの花」のいずれかを選択して実施する。 など

○加工に時間がかかる材料を扱うことを避けたり、作品の大きさを小さくしたりして、製作時間の短縮を図る。

○題材によっては、乾燥に時間がかからない、油性ペンや色鉛筆、クレヨンなどの用具を使用する。

○題材によって多様な表現技法を提示することで、児童が選択して製作に臨めるようにする。

○製作途中の相互鑑賞は、鑑賞の視点を明確にし、短時間でを行うことが考えられる。

○振り返り（製作した作品の鑑賞等）の活動は、休み時間などを利用し、展示された作品を鑑賞するなどの工夫をすることが考えられる。友達の商品に対するコメントは、作品の名札に付箋紙を貼るなどの工夫をすることが考えられる。

○アイデアスケッチなど、構想を練る活動の補充は、家庭での課題として扱う。（提出されたアイデアスケッチや設計図などは、「表す」時間の前にチェックし、助言をワークシート等に記入して児童に返す。